

Breaking One's Journey



東京

RVパーク東京・東墨田

ホテルの宿泊費高騰を横目に RVパークで安く快適に旅をする

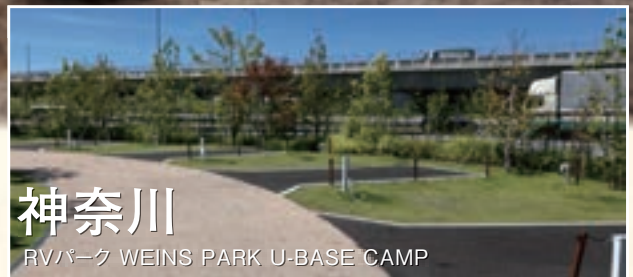
最近、関東への出張に頭を抱えるサラリーマンが多いと聞く。なぜなら、宿泊費が高くなってしまったから。近年、海外からの旅行客数増加の影響もあり、ホテル需要が高まってきている。宿泊費は高騰して、都内では数年前の1.5倍以上の金額を提示するホテルも多い。

そこで注目したいのがRVパーク。地方の観光地に点在しているイメージだが、首都圏の施設もある。街の中に施設があるので、食事などは近くの飲食店を利用したり、都市部の利便性を感じることができるだろう。なんといっても、その宿泊料金が魅力的だ。

RVパーク利用料金の中央値は2000～5000円程度。都内のホテルが軒並み10000円を超えていることを考えると、リーズナブルに見える。しかも、2泊、3泊と長期化してくると、一気にその差が開いてくるので、コスト面では大きなアドバンテージになる。

しかし、ほとんどの施設では車両に宿泊しなければならない。この「車中泊」を、仕事に支障をきたすからなどの理由で、敬遠する人も多いのではないだろうか。もし、この条件をクリアできるのであれば、都心部への旅行もストレスを感じることもないのだが……

キャンピングカーは、テレワークにも適しているをご存知だろうか。居住空間には電源が確保されているので、PCやスマートフォンの充電にも困らない。エアコンを装備している車両であれば、季節を問わず快適な室温で、



神奈川

RVパーク WEINS PARK U-BASE CAMP

デスクワークやオンライン会議など支障なく仕事を行うことができる。また、初めてキャンピングカーを利用する場合、レンタルする方法はどうだろうか。コストはかかってしまうが、トータルで見るとコストを抑えることができる。さらにいうと、個人や会社、もしくはグループなどで、キャンピングカーや車中泊車両を保有しておくのもいいだろう。

フィンランドでは長期休暇期間をサマーハウスで過ごす人が多い。クルマを買うような気分で、サマーハウスを手に入れているという。この感覚で、都市部で過ごすためのキャンピングカーがあれば、日本人らしい休暇の新しい過ごし方が生まれるのかもしれない。



千葉

RVパークGREENBASE木更津



神奈川

RVパークみづら



神奈川

RVパーク ビーチサイドハウス鶴沼海岸